

中部大学 自己点検・評価だより Self Evaluation Newsletter



第5号

2024 年度の全学的課題は 2023 年度の課題のさらなるステップアップを目指します！

「学長のリーダーシップによる教学マネジメント体制の構築—step2 アセスメント・プランの作成—」

(担当責任者：竹内学長)

「DP・CP との整合性を高めるシラバスの精緻化—step2 学生と教員へのシラバスの浸透—」

(担当責任者：花井副学長)



全学的課題は自己点検・評価と外部評価の結果をもとに決定しているよ！

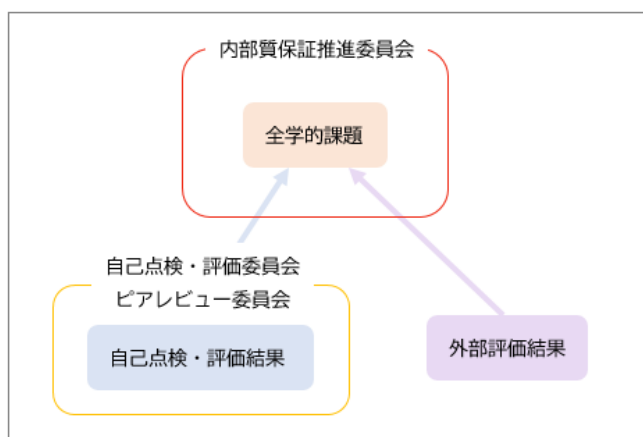


図 全学的課題決定の流れ

教学マネジメントの要です！

「アセスメント・プランの作成」



竹内学長

文部科学省が定義している教学マネジメント（大学がその教育目的を達成するために行う管理運営であり、大学の内部質保証の確立にも密接に関わる重要な営み）のもとに、2023 年度は会議・委員会体制の見直しを検討しました。2024 年度は全学、学部、学科で実施されている各種アセスメント（右上表）の目的や活用方法を体系的に整理すること（アセスメント・プランの作成）によって、教学マネジメント体制の構築を推進していきます。アセスメント・プランは 2025 年度に公表予定です。

表 2024 年度 各種アセスメント

	入学前・入学時 (AP 検証)	在学中 (CP 検証)	卒業時・卒業後 (DP 検証)
機関 (大学全体) レベル	・入学試験 ・調査書 ・面接・志望理由書 ・新入生アンケート	・単位修得状況 ・学生アンケート ・アセスメントテスト ・休学・退学・除籍率	・学位取得状況 ・大学院進学率 ・就職率 ・卒業生アンケート
教育課程 (学部・学科) レベル	・入学試験 ・調査書 ・面接・志望理由書 ・新入生アンケート	・単位修得状況 ・学生アンケート ・アセスメントテスト ・休学・退学・除籍率 ・進級率 ・GPA	・卒業論文・卒業制作 ・学位取得状況 ・卒業率 ・大学院進学率 ・就職率 ・GPA ・資格取得状況 ・卒業生アンケート
科目 (授業) レベル	・フレッシュマンテスト (プレースメントテスト)	・成績評価 ・学生による授業評価	

シラバスで授業の全てが分かる！



花井副学長

「学生と教員へのシラバスの浸透」

文部科学省の「教学マネジメント指針」には、「シラバスは、個々の授業科目について学生と教員との共通認識を図る上で極めて重要な存在である。」と記されています。2023 年度は各学科・専攻で「DP との関連を踏まえ、CP に沿った内容が記載されているか」を点検方針としてシラバスの第三者点検を実施しました。2027 年度に受審予定の第 4 期機関別認証評価では「シラバスの作成と活用（学生が授業の内容や目的を理解し、効果的な学習を進めるために十分な内容であるか）」という視点が求められることから、継続してシラバスの質保証に取り組む必要があります。2024 年度は step2 として、学生が分かりやすいシラバスへのブラッシュアップ促進を図ります。

2024 年度の外部評価

昨年度からリニューアルスタートした外部評価。前回から引き続き、山形大学 浅野茂教授、株式会社進研アド 高坂栄一氏のお二方にご担当いただきました。

評価項目	3つのポリシーを踏まえた取組みの適切性、内部質保証、教育課程・学習成果、学生の受け入れ、大学運営（ガバナンス、教職協働）
評価期間	5月末～8月中旬
評価方法	書面評価
評価結果概要	【長所・特色】 ・建学の精神「不言実行、あてになる人間」をDPの一つとすることで独自性を表現 ・カリキュラムマップの大幅な整理による、各学部開講科目とDPのつながりの明確化 ・自己点検・評価を全学的に推進する体制の整備、丁寧なピアレビューによる内部質保証の強化 ・「学びに関する調査」結果の有効活用、学生への周知 ・多面的・総合的評価を実現した夢探求入試 ・「ガルーン」を利用した組織・部署をまたがる教職協働 【課題事項】 ・カリキュラムツリー：表現方法の統一 ・IR部門：位置づけの明確化 ・各種アセスメント：具体的な実施内容や結果の活用方法等（アセスメント・プラン）の策定 ・志願者数：目標数値と現行数字の乖離 ・ガバナンス：位置づけの明確化



昨年度の評価結果概要は第4号で確認できるよ！



用語の解説



アセスメント・プラン

アセスメント・プランとは、アセスメント（学生の学修成果の評価）の指標や活用方法を定めた学内方針です。

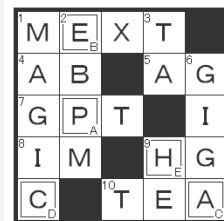
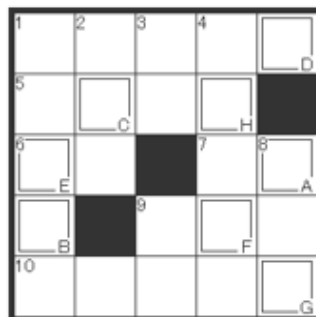
アセスメント・プランを踏まえ、把握・可視化した学修成果※を点検・評価すると、大学の教育活動が「卒業認定・学位授与の方針」に定められた学修目標をどれだけ達成できているのか確認できます。その結果を基に、教育課程や授業方法、さらには「卒業認定・学位授与の方針」の見直し等の改善につなげていくことで大学全体の教育の質を高めることができるのです。

※授業の履修履歴、学位授与履歴、「学びに関する調査」結果、GPS-Academic受検結果など

Web サイト「アセスメント・ポリシー（学修成果の評価の方針）」



★大学評価クロスワードパズル★



第4号の答えは「PEACH」でした。



答え A B C D E F G H

☆☆☆ タテのカギ ☆☆☆

【1】	必ず学ばなくてはならないこと。
【2】	夜の景色。「100万ドルの〇〇〇」
【3】	貢ぎものとして奉る馬。
【4】	大学入学から在学中、卒業後までを一貫してサポートする総合的・組織的な学生支援策。〇〇〇〇〇メント・マネジメント。
【8】	アメリカの黒人音楽から発達したポピュラー音楽。
【9】	ストップ・アンド・〇〇

☆☆☆ ヨコのカギ ☆☆☆

【1】	好評につき、秋学期も実施。〇〇〇〇〇朝食。
【5】	普通のラーメンよりもスープがかなり少ないです。
【6】	ブナ科の常緑高木。
【7】	家と家との間の狭い通路。
【9】	沖縄地方の方言でにがうりのこと。
【10】	イギリス、グレート・ブリテン島南西部の半島状の地域。

お知らせ♪

第5号より正解者の抽選プレゼントを中部大学サービスに協賛いただくことになりました！

(株)中部大学サービスは学校法人中部大学100%出資の事業会社です。教職員の方々、学生の方々向けに多彩な福利厚生サービスを提供しています。是非、お気軽にお立ち寄りください。



キャンパス2階だよ！気軽に来てね！



中部大学サービス事業内容



発行日 2024年 11月22日

発行 大学企画室 大学評価推進部

内線 2381・2382（大学企画部 大学評価事務課）

E-mail hyoka@office.chubu.ac.jp

第5号

